

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2029年4月20日まで（2013年12月16日設定）	
運用方針	主として、三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界主要国の債券に投資し、信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、世界主要国の債券に直接投資することがあります。
	マザーファンド	世界主要国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン （年1回決算型）

愛称：花こよみ年1



第4期（決算日：2017年4月20日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）」は、去る4月20日に第4期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
 (9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
 お客様のお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			(参考指数)		債券組入比率	債券先物比率	純資産総額								
		税金	込	み	期	中				シ	世	界	国	債	イン	デ	ク
(設定日) 2013年12月16日	円 10,000			円	騰	落	%		%								百万円 10
1期(2014年4月21日)	10,526			0		5.3			414.30		2.4		97.4		—		2,286
2期(2015年4月20日)	11,549			0		9.7			464.07		12.0		97.8		—		10,698
3期(2016年4月20日)	10,508			0		△9.0			439.03		△5.4		97.1		—		10,638
4期(2017年4月20日)	10,419			0		△0.8			422.92		△3.7		97.4		—		10,762

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) シティ世界国債インデックス（除く日本・円ベース）は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		（ 参 考 指 数 ）		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2016年4月20日	円 10,508	% —	ンティ世界国債 インデックス (除く日本・円ベース) 439.03	% —	% 97.1	% —
4月末	10,323	△1.8	443.06	0.9	96.8	—
5月末	10,132	△3.6	441.61	0.6	97.7	—
6月末	9,922	△5.6	415.45	△5.4	97.6	—
7月末	10,210	△2.8	425.08	△3.2	97.2	—
8月末	10,155	△3.4	419.02	△4.6	97.7	—
9月末	9,990	△4.9	415.00	△5.5	97.1	—
10月末	10,132	△3.6	414.55	△5.6	96.7	—
11月末	10,571	0.6	431.00	△1.8	97.1	—
12月末	10,543	0.3	442.15	0.7	96.3	—
2017年1月末	10,799	2.8	432.60	△1.5	98.2	—
2月末	10,800	2.8	429.60	△2.1	97.0	—
3月末	10,705	1.9	428.19	△2.5	97.0	—
(期 末) 2017年4月20日	10,419	△0.8	422.92	△3.7	97.4	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

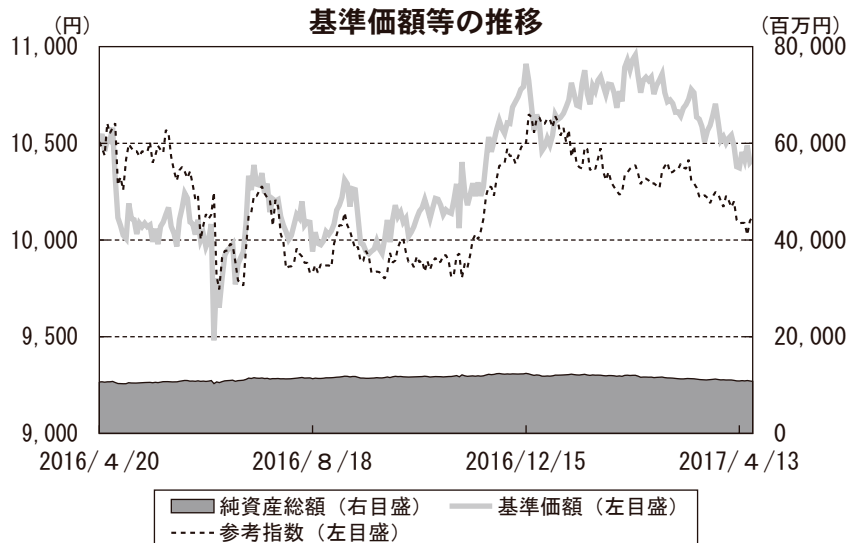
運用経過

当期中の基準価額等の推移について

(第4期：2016/4/21～2017/4/20)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.8%の下落となりました。

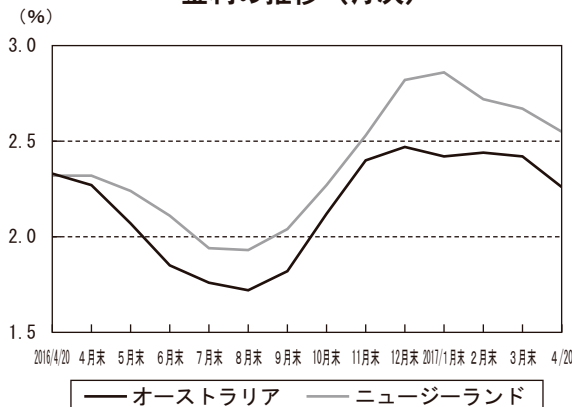


基準価額の主な変動要因

上昇要因	債券の利子収益を享受したことが基準価額の上昇要因となりました。
下落要因	豪ドルが対円で下落したことやニュージーランド金利が上昇したこと、信託報酬等のコストなどが基準価額の下落要因となりました。

投資環境について

金利の推移 (月次)



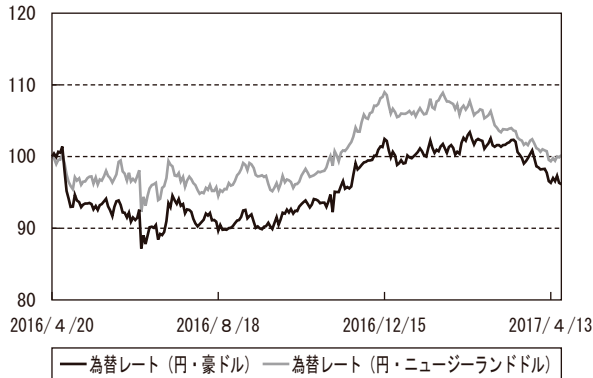
(注) シティ世界国債インデックスにおける各国の最終利回り。

(第4期：2016/4/21～2017/4/20)

◎債券市況

・オーストラリア金利は低下した一方、ニュージーランド金利は上昇しました。期首から2016年8月にかけて、オーストラリアおよびニュージーランドの消費者物価統計が低位で推移していることなどを背景に、両国の追加金融緩和観測が高まり、両国の金利は低下基調で推移しました。9月上旬以降は、日本や欧州の追加金融緩和観測の後退や11月の米大統領選の結果を受けた財政政策に対する期待などで米国の早期追加利上げ観測が高まったことなどから12月にかけて両国の金利は上昇しました。2017年に入ってから豪州連邦準備銀行(RBA)とニュージーランド準備銀行(RBNZ)が金融政策を据え置く中、米国の早期追加利上げに対する思惑などで3月中旬まではオーストラリア金利、ニュージーランド金利は上下する展開となりました。その後、期末にかけては、3月中旬の米連邦公開市場委員会(FOMC)で利上げが実施されたものの、今後も引き続き緩やかなペースで利上げを行っていく方針が示されたことや、2月分のオーストラリアの雇用統計やニュージーランドの2016年10-12月期の国内総生産(GDP)が市場予想を下回ったことなどから、両国の金利は低下しましたが、期を通じてみると、オーストラリア金利は低下した一方、ニュージーランド金利は上昇して終わりました。

為替市況の推移
(期首を100として指数化)



◎為替市況

・豪ドルは対円で下落した一方、ニュージーランドドルは対円でほぼ横ばいとなりました。期首から2016年8月にかけては、RBAが5月の定例会合で政策金利の引き下げを決定したうえで、追加金融緩和を示唆したことなどから、豪ドルは対円で下落した一方、ニュージーランドは対円でほぼ横ばいで推移しました。その後、両国の金利が上昇したことで両国と本邦との金利差が拡大したことなどから、2017年1月にかけて豪ドル、ニュージーランドドルは対円で上昇しました。その後、期末にかけて、両国と本邦との金利差が縮小し、豪ドル、ニュージーランドドルが対円で下落に転じ、期を通じてみると、豪ドルは対円で下落した一方、ニュージーランドドルは対円でほぼ横ばいで終わりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

<三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）>

- ・三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券への投資を通じて、世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高いと判断した国の債券を高位に組み入れた運用を行いました。期を通じて、オーストラリア、ニュージーランドの2カ国で運用しました。
- ・当期は、債券の利子収益を享受したものの、豪ドルが対円で下落したことやニュージーランド金利が上昇したこと、信託報酬等のコストなどから、基準価額は下落しました。

<三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド>

基準価額は期首に比べ0.3%の上昇となりました。

（投資国）

- ・期を通じてオーストラリア、ニュージーランドの2カ国で運用しました。

（通貨）

- ・相対的に利回りが高いと判断した投資対象国（オーストラリア、ニュージーランド）の中で、債券市場の流動性などを考慮し、期を通じてオーストラリアへ重点配分しました。

（金利）

- ・残存期間毎に最終利回りが相対的に高い銘柄を中心に、流動性を考慮して銘柄選択を行い投資しました。

（組入比率）

- ・期を通じて、債券の組入比率は高位を維持しました。
- ・前記の運用の結果、豪ドルが対円で下落したことやニュージーランド金利が上昇したものの、債券の利子収益を享受したことなどから、基準価額は上昇しました。

（ご参考）

利回り・デュレーション（平均回収期間や金利感応度）

期首（2016年4月20日）

期末（2017年4月20日）

最終利回り	2.5%	➡	最終利回り	2.5%
直接利回り	4.0%		直接利回り	3.9%
デュレーション	5.6年		デュレーション	5.9年

- ・数値は債券現物部分で計算しております。
- ・最終利回りとは、個別債券等について満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。
- ・直接利回りとは、個別債券等についての表面利率を加重平均したものです。
- ・利回りは、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損益等を考慮した後のファンドの「期待利回り」を示すものではありません。
- ・デュレーションは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。

（ご参考）

債券の格付分布

期首（2016年4月20日）

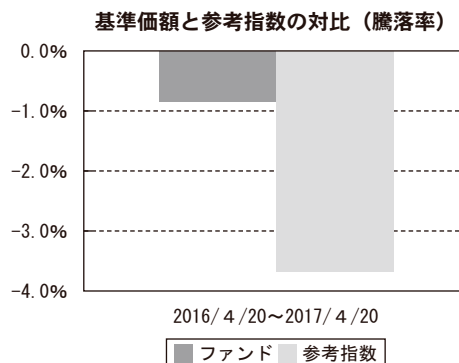
期末（2017年4月20日）

格付種類	比率	銘柄数		格付種類	比率	銘柄数
AAA格	96.3%	79	➡	AAA格	95.7%	78
AA格	1.1%	2		AA格	1.9%	3
A格	0.0%	0		A格	0.0%	0
BBB格	0.0%	0		BBB格	0.0%	0
BB格以下	0.0%	0		BB格以下	0.0%	0
無格付	0.0%	0		無格付	0.0%	0

- ・比率は純資産総額に対する割合です。
- ・格付の振分基準は、以下の通りです。
 - ・AAA格（AA+、AA、AA-、Aa1、Aa2、Aa3）
 - ・A格（A+、A、A-、A1、A2、A3）
 - ・BBB格（BBB+、BBB、BBB-、Baa1、Baa2、Baa3）
 - ・BB格（BB+、BB、BB-、Ba1、Ba2、Ba3）
- ・原則として、個別銘柄格付を採用しておりますが、例外的に国債、地方債ならびに政府保証のある債券などについては、弊社の分類基準に基づいて、ソブリン格付（国の発行体格付）を採用しているものがあります。
- ・格付分布はR&I社、JCR社、S&P社、Moody's社のうち最も高い格付を表示しています。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数はシティ世界国債インデックス（除く日本・円ベース）です。



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第4期
	2016年4月21日~2017年4月20日
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,540

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

<三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）>

◎今後の運用方針

- ・三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。

<三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・オーストラリア金利、ニュージーランド金利はもみ合う展開を想定します。オーストラリアでは、国内の物価動向がRBAのインフレターゲット（年率2～3%）を継続的に下回っている一方、グローバルな景気回復期待を背景に、RBAは当面金融政策を据え置き、景気動向・資産価格動向などを慎重に見極めていくものと考えます。ニュージーランドでは国内経済は堅調に推移しているものの、RBNZはインフレ率がインフレ目標に向かって緩やかに上昇していくと予想していることなどから、引き続き現状の緩和的な金融政策を維持するものと考えます。
- ・オーストラリア、ニュージーランドではRBAとRBNZが当面現状の金融政策を維持すると考えられますが、両国の経済が堅調なことに加え、FOMCが今後の政策金利引き上げを含む金融正常化を慎重に進める方針を示唆していることなどから、豪ドルとニュージーランドドルは対円で安定した推移になると考えます。

◎今後の運用方針

（投資国）

- ・世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資する方針です。

（通貨）

- ・相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、相対的に利回りが高いと判断される国に重点配分する方針です。

（金利）

- ・ポートフォリオの構築は国別に、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2016年4月21日～2017年4月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	123	1.188	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(61)	(0.594)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(56)	(0.540)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(6)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.022	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.018)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	125	1.210	
期中の平均基準価額は、10,356円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年4月21日～2017年4月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	905,364	1,852,628	864,098	1,866,145

○利害関係人との取引状況等

(2016年4月21日～2017年4月20日)

利害関係人との取引状況

<三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン（年1回決算型）>

該当事項はございません。

<三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
		百万円	%		百万円	%
為替直物取引	百万円 3,691	百万円 —	% —	百万円 53,803	百万円 25,005	% 46.5

平均保有割合 3.8%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年4月20日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	千口 5,009,031	千口 5,050,297	千円 10,734,912

マザーファンドの組入資産の明細につきましては、マザーファンド頁をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2017年4月20日現在)

項 目	当 期	末
	評 価 額	比 率
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド	千円 10,734,912	% 97.8
コール・ローン等、その他	238,683	2.2
投資信託財産総額	10,973,595	100.0

(注) 三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（271,729,936千円）の投資信託財産総額（274,955,370千円）に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=81.84円	1 ニュージーランドドル=76.74円	
--------------------	---------------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2017年4月20日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,973,595,057
コール・ローン等	130,381,157
三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド(評価額)	10,734,912,544
未収入金	108,301,356
(B) 負債	211,366,757
未払解約金	141,370,146
未払信託報酬	69,768,149
未払利息	187
その他未払費用	228,275
(C) 純資産総額(A-B)	10,762,228,300
元本	10,329,732,252
次期繰越損益金	432,496,048
(D) 受益権総口数	10,329,732,252口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,419円

<注記事項>

- ①期首元本額 10,123,903,489円
 期中追加設定元本額 3,520,082,711円
 期中一部解約元本額 3,314,253,948円
 また、1口当たり純資産額は、期末10,419円です。

②分配金の計算過程

項 目	2016年4月21日～ 2017年4月20日
費用控除後の配当等収益額	285,778,675円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	718,587,452円
分配準備積立金額	587,137,627円
当ファンドの分配対象収益額	1,591,503,754円
1万口当たり収益分配対象額	1,540円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

○損益の状況（2016年4月21日～2017年4月20日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 28,714
受取利息	849
支払利息	△ 29,563
(B) 有価証券売買損益	107,453,469
売買益	171,116,440
売買損	△ 63,662,971
(C) 信託報酬等	△ 136,482,239
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 29,057,484
(E) 前期繰越損益金	△ 315,014,344
(F) 追加信託差損益金	776,567,876
(配当等相当額)	(711,885,017)
(売買損益相当額)	(64,682,859)
(G) 計(D+E+F)	432,496,048
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	432,496,048
追加信託差損益金	776,567,876
(配当等相当額)	(718,587,452)
(売買損益相当額)	(57,980,424)
分配準備積立金	872,916,302
繰越損益金	△1,216,988,130

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<http://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

【お 知 ら せ】

- ①信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める（分散型に分類）ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。
(2016年7月20日)
- ②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド

《第14期》決算日2017年4月20日

[計算期間：2016年4月21日～2017年4月20日]

「三菱UFJ グローバル・ボンド・マザーファンド」は、4月20日に第14期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	信託財産の長期的な成長を目標として運用を行います。 世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資することにより、利子収益の獲得をめざします。投資対象候補国は、国債の信用力、債券市場や外国為替市場の規模等を勘案して委託会社が決定します。投資対象候補国の中から、相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、最も利回りが高いと判断される国に重点配分することを基本とします。判断の基準としては、シティ世界国債インデックスにおける各国の最終利回りとします。ポートフォリオの構築は国別に行うこととし、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択します。投資対象とする債券の種類は、各国の国債、政府保証債のほか、オーストラリアの州政府債および各国通貨建ての国際機関債とします。組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。
主要運用対象	世界主要国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) シティ世界国債インデックス (除く日本・円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
10期(2013年4月22日)	21,160	31.5	386.53	28.2	98.1	—	304,385
11期(2014年4月21日)	20,722	△ 2.1	414.30	7.2	97.7	—	285,882
12期(2015年4月20日)	23,012	11.1	464.07	12.0	98.1	—	417,197
13期(2016年4月20日)	21,186	△ 7.9	439.03	△ 5.4	97.3	—	320,502
14期(2017年4月20日)	21,256	0.3	422.92	△ 3.7	97.6	—	272,303

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) シティ世界国債インデックス(除く日本・円ベース)は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) シティ世界国債インデックス (除 く 日 本 ・ 円 ベ ー ス)		債 組 入 比 率 %	債 先 物 比 率 %
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期首) 2016年4月20日	円 21,186	% —	439.03	% —	97.3	—
4月末	20,816	△1.7	443.06	0.9	97.1	—
5月末	20,452	△3.5	441.61	0.6	98.0	—
6月末	20,046	△5.4	415.45	△5.4	97.8	—
7月末	20,649	△2.5	425.08	△3.2	97.5	—
8月末	20,559	△3.0	419.02	△4.6	98.0	—
9月末	20,245	△4.4	415.00	△5.5	97.4	—
10月末	20,555	△3.0	414.55	△5.6	96.9	—
11月末	21,467	1.3	431.00	△1.8	97.4	—
12月末	21,432	1.2	442.15	0.7	96.6	—
2017年1月末	21,978	3.7	432.60	△1.5	98.4	—
2月末	22,000	3.8	429.60	△2.1	97.2	—
3月末	21,827	3.0	428.19	△2.5	97.2	—
(期末) 2017年4月20日	21,256	0.3	422.92	△3.7	97.6	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

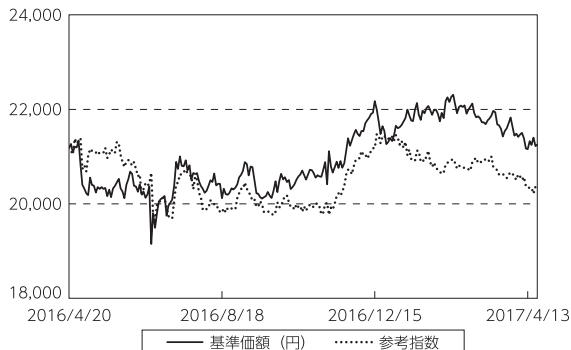
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.3%の上昇となりました。

基準価額の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●投資環境について

◎債券市況

・オーストラリア金利は低下した一方、ニュージーランド金利は上昇しました。期首から2016年8月にかけて、オーストラリアおよびニュージーランドの消費者物価統計が低位で推移していることなどを背景に、両国の追加金融緩和観測が高まり、両国の金利は低下基調で推移しました。9月上旬以降は、日本や欧州の追加金融緩和観測の後退や11月の米大統領選の結果を受けた財政政策に対する期待などで米国の早期追加利上げ観測が高まったことなどから12月にかけて両国の金利は上昇しました。2017年に入ってから豪州連邦準備銀行(RBA)とニュージーランド準備銀行(RBNZ)が金融政策を据え置く中、米国の早期追加利上げに対する思惑などで3月中旬まではオーストラリア金利、ニュージーランド金利は上下する展開となりました。その後、期末にかけては、3月中旬の米

連邦公開市場委員会（FOMC）で利上げが実施されたものの、今後も引き続き緩やかなペースで利上げを行っていく方針が示されたことや、2月分のオーストラリアの雇用統計やニュージーランドの2016年10-12月期の国内総生産（GDP）が市場予想を下回ったことなどから、両国の金利は低下しましたが、期を通じてみると、オーストラリア金利は低下した一方、ニュージーランド金利は上昇して終わりました。

◎為替市況

- ・豪ドルは対円で下落した一方、ニュージーランドドルは対円でほぼ横ばいとなりました。期首から2016年8月にかけては、RBAが5月の定例会合で政策金利の引き下げを決定したうえで、追加金融緩和を示唆したことなどから、豪ドルは対円で下落した一方、ニュージーランドは対円でほぼ横ばいで推移しました。その後、両国の金利が上昇したことで両国と本邦との金利差が拡大したことなどから、2017年1月にかけて豪ドル、ニュージーランドドルは対円で上昇しました。その後、期末にかけて、両国と本邦との金利差が縮小し、豪ドル、ニュージーランドドルが対円で下落に転じ、期を通じてみると、豪ドルは対円で下落した一方、ニュージーランドドルは対円でほぼ横ばいで終わりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて (投資国)

- ・期を通じてオーストラリア、ニュージーランドの2カ国で運用しました。

(通貨)

- ・相対的に利回りが高いと判断した投資対象国（オーストラリア、ニュージーランド）の中で、債券市場の流動性を考慮し、期を通じてオーストラリアへ重点配分しました。

(金利)

- ・残存期間毎に最終利回りが相対的に高い銘柄を中心に、流動性を考慮して銘柄選択を行い投資しました。

(組入比率)

- ・期を通じて、債券の組入比率は高位を維持しました。
- ・前記の運用の結果、豪ドルが対円で下落したことやニュージーランド金利が上昇したものの、債券の利子収益を享受したことなどから、基準価額は上昇しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・オーストラリア金利、ニュージーランド金利はもみ合う展開を想定します。オーストラリアでは、国内の物価動向がRBAのインフレーターゲット（年率2～3%）を継続的に下回っている一方、グローバルな景気回復期待を背景に、RBAは当面金融政策を据え置き、景気動向・資産価格動向などを慎重に見極めていくものと考えます。ニュージーランドでは国内経済は堅調に推移しているものの、RBNZはインフレ率がインフレ目標に向かって緩やかに上昇していくと予想していることなどから、引き続き現状の緩和的な金融政策を維持するものと考えます。
- ・オーストラリア、ニュージーランドではRBAとRBNZが当面現状の金融政策を維持すると考えられますが、両国の経済が堅調なことに加え、FOMCが今後の政策金利引き上げを含む金融正常化を慎重に進める方針を示唆していることなどから、豪ドルとニュージーランドドルは対円で安定した推移になると考えます。

◎今後の運用方針

(投資国)

- ・世界の主要国のうち、信用力が高く、かつ、相対的に利回りが高い国の債券に投資する方針です。

(通貨)

- ・相対的に利回りが高いと判断される投資対象国を複数選定し、相対的に利回りが高いと判断される国に重点配分する方針です。

(金利)

- ・ポートフォリオの構築は国別に、残存期間毎に最終利回りの高い銘柄を中心に選択する方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2016年4月21日～2017年4月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(4)	(0.018)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	4	0.018	
期中の平均基準価額は、21,002円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年4月21日～2017年4月20日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 254,392	千オーストラリアドル 265,064
		特殊債券	183,066	449,759 (10,000)
	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル 133,176	千ニュージーランドドル 264,068
		特殊債券	55,372	69,185

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2016年4月21日～2017年4月20日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	3,691	—	—	53,803	25,005	46.5

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2017年4月20日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
オーストラリア	千オーストラリアドル 2,088,000	千オーストラリアドル 2,269,583	千円 185,742,675	% 68.2	% —	% 46.1	% 16.4	% 5.7
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 978,600	千ニュージーランドドル 1,044,281	80,138,146	29.4	—	12.7	13.5	3.3
合 計	—	—	265,880,822	97.6	—	58.8	29.9	9.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	当 額面金額	期 末 評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
オーストラリア		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円	
国債証券	2 AUST GOVT 211221	2.0	50,000	50,016	4,093,317	2021/12/21
	2.25 AUST GOVT 280521	2.25	35,000	33,966	2,779,785	2028/5/21
	2.75 AUST GOVT 191021	2.75	10,000	10,262	839,890	2019/10/21
	2.75 AUST GOVT 240421	2.75	80,000	82,541	6,755,211	2024/4/21
	2.75 AUST GOVT 281121	2.75	30,000	30,491	2,495,398	2028/11/21
	2.75 AUST GOVT 350621	2.75	40,000	38,396	3,142,364	2035/6/21
	3 AUST GOVT 470321	3.0	30,000	27,651	2,263,021	2047/3/21
	3.25 AUST GOVT 290421	3.25	90,000	95,837	7,843,362	2029/4/21
	3.25 AUST GOVT 390621	3.25	20,000	20,124	1,646,951	2039/6/21
	3.75 AUST GOVT 370421	3.75	110,000	120,395	9,853,189	2037/4/21
	4.25 AUST GOVT 260421	4.25	60,000	68,927	5,641,057	2026/4/21
	4.5 AUST GOVT 330421	4.5	50,000	60,441	4,946,561	2033/4/21
	4.75 AUST GOVT 270421	4.75	70,000	84,161	6,887,776	2027/4/21
	5.5 AUST GOVT 230421	5.5	80,000	95,077	7,781,144	2023/4/21
	5.75 AUST GOVT 210515	5.75	30,000	34,500	2,823,526	2021/5/15
	5.75 AUST GOVT 220715	5.75	100,000	118,325	9,683,775	2022/7/15
特殊債券	2.5 EUROPEAN INVE 200430	2.5	15,000	15,102	1,236,020	2020/4/30
	2.5 IADB 270414	2.5	42,000	39,727	3,251,333	2027/4/14
	2.6 ASIAN DEV 200116	2.6	5,000	5,065	414,532	2020/1/16
	2.7 INTL FINAN 210205	2.7	5,000	5,070	414,972	2021/2/5
	2.7 NORDIC INVEST 200204	2.7	10,000	10,127	828,841	2020/2/4
	2.75 INTER-AMERIC 251030	2.75	7,000	6,881	563,179	2025/10/30
	2.75 QUEENSLAND 270820	2.75	30,000	29,269	2,395,455	2027/8/20
	2.75 WEST AUST TR 221020	2.75	20,000	20,199	1,653,164	2022/10/20
	2.8 IBRD 210113	2.8	10,000	10,175	832,766	2021/1/13
	3 ASIAN DEV 261014	3.0	20,000	19,883	1,627,296	2026/10/14
	3 IBRD 261019	3.0	20,000	19,913	1,629,748	2026/10/19
	3 NEWSWALES 270520	3.0	15,000	15,185	1,242,752	2027/5/20
	3 NEWSWALES 300220	3.0	20,000	19,752	1,616,508	2030/2/20
	3 SOUTH AUST GOVT 270920	3.0	15,000	14,941	1,222,812	2027/9/20
	3 VICTORIA 281020	3.0	20,000	20,093	1,644,458	2028/10/20
	3.5 INTER-AMER 170926	3.5	30,000	30,211	2,472,538	2017/9/26
	3.5 INTL FIN CORP 180606	3.5	40,000	40,711	3,331,860	2018/6/6
	3.5 NEWSWALES 190320	3.5	40,000	41,280	3,378,378	2019/3/20
	3.75 ASIAN DEVELO 250312	3.75	15,000	15,883	1,299,927	2025/3/12
	3.75 INTER-AME 181009	3.75	20,000	20,529	1,680,126	2018/10/9
	3.75 INTER-AMERIC 220725	3.75	15,000	15,897	1,301,035	2022/7/25
	3.75 INTL BK RECO 190123	3.75	30,000	30,930	2,531,321	2019/1/23
	4 AFRICAN DEVELOP 250110	4.0	10,000	10,659	872,377	2025/1/10
	4 INTL FINANCE CO 250403	4.0	35,000	37,683	3,084,030	2025/4/3
	4 NEWSWALES 210408	4.0	50,000	53,621	4,388,375	2021/4/8
	4 NEWSWALES 230420	4.0	100,000	109,165	8,934,063	2023/4/20
	4.25 INTL BK RECO 250624	4.25	10,000	11,008	900,920	2025/6/24
	4.25 INTL FINANCE 230821	4.25	15,000	16,346	1,337,821	2023/8/21

銘柄	銘柄	当 期 末				償還年月日	
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
オーストラリア		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円		
	特殊債券	4.25 VICTORIA 321220	4.25	5,000	5,608	458,978	2032/12/20
		4.75 EUROPEAN INV 240807	4.75	10,000	11,183	915,232	2024/8/7
		4.75 INTER-AMERIC 240827	4.75	10,000	11,272	922,524	2024/8/27
		4.75 NORDIC INVES 240228	4.75	20,000	22,414	1,834,410	2024/2/28
		5 ASIAN DEV BANK 220309	5.0	25,000	27,905	2,283,790	2022/3/9
		5 NORDIC INVES BK 220419	5.0	8,000	8,922	730,177	2022/4/19
		5.5 VICTORIA 241217	5.5	60,000	72,366	5,922,462	2024/12/17
		5.5 VICTORIA 261117	5.5	25,000	30,908	2,529,590	2026/11/17
		5.75 INTL BK RECO 191021	5.75	70,000	76,302	6,244,586	2019/10/21
		6 ASIAN DEV BK 180222	6.0	26,000	26,896	2,201,197	2018/2/22
		6 EUROPEAN INVEST 200806	6.0	18,000	20,123	1,646,892	2020/8/6
		6 QUEENSLAND 210614	6.0	65,000	75,166	6,151,606	2021/6/14
		6 VICTORIA 200615	6.0	60,000	67,365	5,513,195	2020/6/15
		6 VICTORIA 221017	6.0	60,000	71,469	5,849,067	2022/10/17
		6.25 ASIAN DEV BK 200305	6.25	37,000	41,252	3,376,139	2020/3/5
		6.5 EUROPEAN INVE 190807	6.5	20,000	21,953	1,796,707	2019/8/7
		6.5 INTER-AMERICA 190820	6.5	20,000	22,032	1,803,162	2019/8/20
小	計					185,742,675	
ニュージーランド				千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル		
	国債証券	2.75 NZ GOVT 250415	2.75	90,000	89,361	6,857,570	2025/4/15
		2.75 NZ GOVT 370415	2.75	55,000	49,436	3,793,784	2037/4/15
		3 NZ GOVT 200415	3.0	140,000	143,135	10,984,213	2020/4/15
		3.5 NZ GOVT 330414	3.5	40,000	41,491	3,184,089	2033/4/14
		4.5 NZ GOVT 270415	4.5	90,000	102,320	7,852,106	2027/4/15
		5 NZ GOVT 190315	5.0	10,000	10,538	808,759	2019/3/15
		5.5 NZ GOVT 230415	5.5	145,000	168,031	12,894,715	2023/4/15
		6 NZ GOVT 210515	6.0	170,000	194,070	14,892,941	2021/5/15
	特殊債券	3.375 IBRD 220125	3.375	10,000	10,087	774,108	2022/1/25
		3.5 IBRD 210122	3.5	32,600	33,214	2,548,863	2021/1/22
		3.5 NORDIC INVEST 180130	3.5	5,000	5,047	387,333	2018/1/30
		3.625 INTL BK REC 180220	3.625	5,000	5,056	388,050	2018/2/20
		3.625 INTL FINAN 200520	3.625	40,000	40,910	3,139,497	2020/5/20
		3.75 INTL BK RECO 200210	3.75	24,000	24,636	1,890,572	2020/2/10
		4.125 NORDIC INVE 200319	4.125	10,000	10,361	795,134	2020/3/19
		4.5 AFRICAN DEVEL 190827	4.5	10,000	10,384	796,883	2019/8/27
		4.625 ASIAN DEVEL 190306	4.625	45,000	46,708	3,584,425	2019/3/6
		4.625 IBRD 211006	4.625	10,000	10,627	815,580	2021/10/6
		4.625 INTL BK REC 190226	4.625	9,000	9,340	716,794	2019/2/26
		4.875 NORDIC INVE 190122	4.875	38,000	39,519	3,032,721	2019/1/22
小	計					80,138,146	
合	計					265,880,822	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2017年4月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	265,880,822	96.7
コール・ローン等、その他	9,074,548	3.3
投資信託財産総額	274,955,370	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (271,729,936千円) の投資信託財産総額 (274,955,370千円) に対する比率は98.8%です。
 (注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=81.84円	1 ニュージーランドドル=76.74円	
--------------------	---------------------	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2017年4月20日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	275,610,010,294
コール・ローン等	6,467,711,248
公社債(評価額)	265,880,822,207
未収入金	656,000,000
未収利息	2,525,294,099
前払費用	80,182,740
(B) 負債	3,306,586,963
未払金	654,640,000
未払解約金	2,651,942,328
未払利息	4,635
(C) 純資産総額(A-B)	272,303,423,331
元本	128,104,345,459
次期繰越損益金	144,199,077,872
(D) 受益権総口数	128,104,345,459口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,256円

<注記事項>

- ①期首元本額 151,277,665,133円
 期中追加設定元本額 8,639,638,158円
 期中一部解約元本額 31,812,957,832円
 また、1口当たり純資産額は、期末2.1256円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(毎月決算型)	36,490,814,588円
三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(年1回決算型)	5,050,297,584円
三菱UFJ 先進国高金利債券ファンド(年1回決算型)	33,568,838円
三菱UFJ グローバル・ボンド・オープン(毎月決算型)	83,813,916,811円
MUAM グローバル・ボンド・ファンド(適格機関投資家転売制限付)	2,715,747,638円
合計	128,104,345,459円

【お知らせ】

信用リスクを適正に管理する方法を新たに定める(分散型に分類)ため、信用リスク集中回避のための投資制限の追加およびこれに伴う投資制限の記載の変更を行い、信託約款に所要の変更を行いました。

(2016年7月1日)

○損益の状況 (2016年4月21日～2017年4月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	11,972,398,093
受取利息	11,973,209,711
支払利息	△ 811,618
(B) 有価証券売買損益	△ 10,378,642,528
売買益	2,178,873,617
売買損	△ 12,557,516,145
(C) 保管費用等	△ 55,201,134
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,538,554,431
(E) 前期繰越損益金	169,224,662,184
(F) 追加信託差損益金	9,087,392,681
(G) 解約差損益金	△ 35,651,531,424
(H) 計(D+E+F+G)	144,199,077,872
次期繰越損益金(H)	144,199,077,872

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。